

平成27年度「子ども読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）に対する文部科学大臣表彰」において、本県から次の学校、図書館、個人が被表彰者に決定しました。

郡山市立赤木小学校

- 「学習・情報センター」としての機能の充実を図るための学校図書館の環境整備。
 - ・「図書館年間利用計画表」や「活用図書リスト」の活用による調べ学習の充実。
 - ・「読書感想文チャートシート」の活用。
- 児童の読書活動の推進と充実。
 - ・外部ボランティアによる読み聞かせの実施や絵本作家との交流による読書への興味関心の喚起や表現力の育成。



矢祭町立関岡小学校

- 児童が主体的になった読書活動推進。
 - ・児童会活動を活用した組織的・計画的な取組。
- 町図書館（矢祭町もったいない図書館）等との連携。
 - ・町図書館の事業「子ども司書」の活用。
 - ・キャラバンカーの活用や蔵書のデータベース化。
 - ・地域ボランティアサークルの定期的なおはなし会の実施。



いわき市立平第五小学校

- 学校、地域、公立図書館の連携による子ども読書活動の充実。
 - ・司書教諭、学校司書を中心とした全職員と図書ボランティアの連携による学校図書館環境整備や読み聞かせの実施。
 - ・公立図書館による出前講座や図書資料セット貸出の活用。
- 速読トレーニングシステムの導入による読書活動の推進。
 - ・読書量の増加と書く力の育成。



喜多方市立図書館

- 行政、地域との連携による利用者主体の運営の推進。
 - ・指定管理者（株）図書館流通センターが行政や地域のボランティアと連携を図り、図書館運営を実施。
 - ・利用者懇談会や利用者アンケート実施。
- 子ども読書活動推進のための様々な工夫。
 - ・子ども向けの図書館だよりの発行。
 - ・本以外のものを活用しながら読書に親しませる事業の実施。



金田 和枝氏（二本松市）

- 子どものための郷土史研究、児童文学著作活動の実践。
 - ・子どもたちに伝えたい郷土の歴史や伝説を児童文学を通じて紹介。
 - ・多くの著作活動。
 - （「智恵子と光太郎」「おばまのおじぞうさま」「あかとら」）
- 子どもの読書推進活動。
 - ・自宅を開放しての「文庫」活動。
 - ・岩代図書館開館に合わせ「おはなしボランティアタンポポ」を創設。初代代表から現在も継続して読み聞かせを实践。安達地区で活動する読書ボランティアのネットワークを組織化。



表彰式は、平成27年4月23日（木）独立行政法人国立青少年機構 国立オリンピック記念青少年総合センターで、子ども読書の日記念“子どもの読書活動推進フォーラム”において行われます。受賞おめでとうございます。